

平和に対する 日本の熱意 もつと示せれば

私は、国際機関で働く日本の方はどのようなことを考えて仕事をしているのか、そして国際機関で働く意義を知りたいと考えてこの研修に参加した。

特にIAEA（国際原子力機関）に興味を持った。IAEAの方々は日本の原子力発電所についてどう考えているのか、また日本はどうか対応していくべきなのかということを知りたいと考えていた。原子力発電は二酸化炭素を放出せず、火

力発電と同じくらい電力を安定供給できる将来も絶対必要な発電方法だと思う。IAEAは日本が原子力発電を推進していくべきだと考えているが、安全をしっかりと確保した上で、安全で大丈夫だということを専門家以外の一般の国民にもしっかりと説明し、理解してもらうことが重要であると考えていた。日本では、福島原発の事故でたくさんの方が被害を

受けたことで国民の原子力発電に対する印象が悪くなった。そのためたくさんの方が原子力発電を批判している。この問題の解決のために政府にはしっかりとしてもらうことが重要だと感じた。また、原子力は発電だけではなく医療などのためにも使うことができる。がん治療などに応用できる原子力は、必要だと改められていると感じることができた。



Reporter

敦賀高校1年
てらたに しゅんや
寺谷 俊哉

国際機関で働く日本人に 学ぶ視察研修会



IAEAにて

8月初旬に県内の高校生を対象に、IAEA（国際原子力機関）、WHO（世界保健機関）、WIPO（世界知的所有権機関）で働く日本人を訪問し、各機関の役割と日本人の活躍について学びました。

国際機関で働く日本人の割合は、他の国と比べてとても少ない。日本人が国際機関のトップに立つて指揮できれば、日本の理念や日本の国際平和に対する熱意を表すことができると感じます。国際機関で働く日本の方は、日本人というだけで同じ場所でも働く外国の方に頼りにされ優しくされていることにとてもうれしく感じました。先人たちが築いてくれた日本の信頼度がとても高いということを知ることができてよかったです。私は今いい経験ができたことに感謝するとともに日本人がもつと国際社会に貢献していくべきだと感じました。

エネルギー とこと

環境・エネルギーの問題は世界共通の課題です。若い人たちが知識と技術を磨き、この分野を自らの研究や職業の場として選択し、日本はもとより世界の発展に大きく寄与・貢献されることを心から願っています。

福井県経済団体連合会 会長 川田 建男

福井県環境・エネルギー懇話会

〒918-8004 福井市西木田 2-8-1
福井商工会議所ビル 6F

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会 [検索](#)

視察研修会 Report は
今回が最終回となります。

お読みいただき、
ありがとうございました。